

活動実施報告書(令和 2 年度)

名称: えきダイナーサリー

所在地: 鹿児島市 中央町 番地
丁目 34 番 10 号

電話番号: 050-3631-0462

4月: 桜の花びらをさわって、春を楽しもう

取組内容

園外保育先の公園で、お花見をしながら、地面に散った花びらを触ったり、観察したり、花びらが舞う様子を楽しんだり、各自おもいおもいの遊びを展開しながら、季節を感じる。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

未満児クラスの保育園なので、あまり難しい内容ではできませんが、遊びを通して季節ごとの楽しさを体験し、まずは親しみを持ってもらうことからスタートしていけたらと考えています。春のお散歩は、桜をはじめとした様々な色とりどりのお花を観賞することができるので、子どもたちも「きれいだね〜^^」といい合いながら、楽しいお外遊びとなりました。

5月: 電車見学で、公共交通に親しもう

取組内容

園の近くの公園から、交通局の電車を見学しました。公共交通機関を利用することは、炭素の排出量の削減にもつながる、といったことまでの理解は難しいですが、まずは公共交通に親しんでもらえたらと思います。同時に、公共交通機関を利用してさまざまな場所に自由に移動できることも、わたしたちの大切な権利であるということを知ってもらえるような活動にしていきたいです。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

鹿児島に住む私たちの普段の生活では、自家用車での移動が多く、公共交通に乗る機会は少なく、それは子どもたちも同様です。子どもを含めた家族の移動でも、公共交通を利用しやすいような、雰囲気、また料金体系が実現してくれるといいなと感じました。子どもたちは電車やバスが大好きです！コロナウイルスが落ち着いたら、交通局内の見学にも出かけたと思います。

6月： いらなくなったペットボトルで色水あそびを楽しもう

取組内容

不要になったペットボトルをあつめて、色水あそびを行いました。
キャップの裏に絵具を付けているので、はじめは透明で自分が何色を持っているのかわからない子どもたち。シャカシャカ振っていくと、それぞれ違った色の色水に！
職員を含めて、使い捨て容器等について考えてみることができました。

取組結果・感想等

本来は一度の利用だけで捨ててしまうペットボトル。近年、ペットボトル含め、プラスチックの問題は、大きな社会問題となっていますね。マイボトルの利用など使い捨て容器自体の使用を減らすことが一番だとは思いますが、保育園の製作や遊びの中では、割れずに、軽い使用済みのプラスチック容器類は貴重な材料として、日々あたらしい活躍をみせてくれています。

活動の様子(写真等)



7月： 水遊びで、夏のお外遊びを楽しもう

取組内容

夏の園外保育先で、水遊びを行い、エアコン等に頼らない季節ならではの楽しみ方を実践しました。
職員も含めて、近年の猛暑等に絡めながら、気候変動についても考えてみるいい機会になりました。

取組結果・感想等

たらいに汲んだ限られたお水での水遊びではありますが、それぞれびしょびしょになりながら、思い思いのあそびを展開する様子がみられました。毎日のように猛暑日がつづく環境を生活しているこどもたち、、、ここ十年ほどでしょうか、日本の夏はエアコンの利用なしには生活できないほどの暑さになってしまいました。室内の快適なエアコンの涼しさとは違った、夏ならではの”涼”を感じてもらえたのではないかと思います。

活動の様子(写真等)



8月： 氷遊びでひんやり、あつい夏も楽しくあそぼう

取組内容

室内で、大小さまざまな容器に作った氷で、氷あそびを行いました。
氷の冷たい感触を楽しみながら、氷の解ける様子を観察しながら、エアコン等に頼らない季節ならではの楽しみ方を体験しました。

取組結果・感想等

7月に引き続き、今回は室内で、エアコンに頼りすぎない夏の過ごし方を、あそびを通して実践してみました。氷の冷たさ、感触、溶けていく様子など、氷一つで子どもたちにはたくさんの発見があったようです。
来年度は、氷を触る体験に絡めて、氷河が溶けている現状を、絵本等を使って紹介してみたいと思います。

活動の様子(写真等)



9月： 公園で、身近にいる虫さんを観察してみよう

取組内容

園外保育先の公園で、石を裏返してみると、、、みみずやダンゴムシがかくれています！
虫さんは、どんな姿をしているかな？どんな動きをしているかな？どうして、石のうらにかくれているのかな？いっしょに観察をしながら、身近に住んでいる虫などの生物について考えました。

取組結果・感想等

生きている虫に、はじめは少しこわがっている様子も見られましたが、持ってきた虫眼鏡を活用しながら、じっくりと虫の様子を観察していました。
身近なところに住む生き物と触れ合うことで、わたしたちの暮らしている世界には、人間も含めてさまざまな生き物がいて、それぞれが支え合って暮らしているんだということを、少しでも感じてもらえたらうれしいです。

活動の様子(写真等)



10月： 手づくり玩具を大事に使って、楽しくあそぼう

取組内容

園内には、市販のおもちゃだけでなく、保育士の手づくり玩具があります。
牛乳パックで作った、おままごとテーブルや、連結もできる電車のおもちゃ、こども用の長いすなど丈夫で軽い牛乳パックは、さまざまな場面で活躍してくれています。

取組結果・感想等

園にある手作り玩具のなかでも、おままごとテーブル、と連結式電車は大人気で毎日のようにこどもたちのあそびに登場します。
保育園では、市販のものだけでなく、牛乳パックや、ヨーグルトカップ、ペットボトルなどさまざまなものを活用した手づくりおもちゃや、製作物に触れる機会があります。ほしいもの、必要なものが出てきた際に、購入するという選択だけでなく”つくってみる”という選択肢があると、さらに豊かになるような気がします✧

活動の様子(写真等)



11月： お外あそびで、落ち葉を触って秋を感じよう

取組内容

11月になり、公園の木々からはたくさんの落ち葉の贈りものが！
きれいに秋色に染まった葉っぱをあつめて、ならべてみたり、お皿のように使ってみたり、季節を感じながらそれぞれに様々なあそびを展開していました。

取組結果・感想等

ついこの前まで、水遊びをしていた公園が、すっかり秋の様子に様変わり✧
きれいな秋色の葉っぱをあつめると、こどもたちはベンチで見立てあそびをはじめました^^
同じ公園でも、季節によってたくさんの顔を見せてくれます。季節ごとのあそびを楽しみながら、日本の四季の豊かさを感じてもらえたらと思います。

活動の様子(写真等)



12月： 廃材を使って、クリスマスの飾りを作ってみよう

取組内容

子どもたちと一緒に、牛乳パックを使ったクリスマスの長靴を製作しました。
クリスマスまでは、飾りとして、クリスマス当日は、プレゼント入れとして活躍してくれました🎁

取組結果・感想等

クリスマスやハロウィンなどのイベントごとに、店頭にはたくさんの関連商品が並びます。イベントごとにたくさんの季節商品が廃棄されていると聞きます🍁園児との製作を通して、職員も季節ごとのイベントが”もの”を消費するイベントになってしまっている現状について考えてみる良いきっかけになったようです。

活動の様子(写真等)



1月： 地元の材料を使った給食を食べよう

取組内容

えきダイナーサーリーでは、地元の素材を多く使った給食を提供しています。
今回の給食のメインは、おもしろさつまあげでした🍷
かごしま名産のさつまいもを使った給食は、子どもたちにも大人気です。

取組結果・感想等

かごしまは、野菜、肉、魚、お米なんでもそろう食材に恵まれた土地ですね。園の給食でも地元の材料を率先してを使うよう心がけています。
地元のものを選択することは、地域の産業を助けたり、遠くから運ばれてくるものに比べて炭素排出量が少なかったりとももちろん環境にも関係してきますが、なによりもまず、子どもたちに毎日の給食をとおして、地元でとれたものは新鮮でおいしい🍷ということを感じてもらえたらうれしいです。

活動の様子(写真等)



2月： 体を動かして、遊びながらあたたまろう♪

取組内容

毎月園内で行っている体操教室を、今回は園外保育先の公園で行いました。まだまだ寒い日もありますが、体を動かすことを楽しみながら、身体をあたためました。からだを動かすことを楽しんでもらえたと思います。

取組結果・感想等

毎月行っている体操教室ですが、年度終わりも近くなる2月にもなると、子どもたちはいろいろな動きができるようになりました。今回は、サークルを使って、飛んだり、走ったり、電車ごっこをしてみたりなど、さまざまな動きを楽しみながら、身体をあたためました。こういった体験を通して、身体を動かすことの楽しさ、気持ちよさを感じていってほしいです。

活動の様子(写真等)



3月： エコ取り組みの報告、来年の予定(ブログ等)

取組内容

エコ取り組みの報告、来年の予定などを、ブログに紹介し、保護者にも取り組みについて知ってもらう。

取組結果・感想等

今年度エコ保育所の活動で行ったことを、ブログで発信しました。ブログを通して、保護者や当園に興味を持っている方々にも、エコ保育所の活動を知っていただけたのではないかと思います。来年度は、毎月ブログで活動報告をしてみることも検討したいです。

活動の様子(写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

当園は、0・1・2歳児を対象とする保育園ということで、ほかの参加園のように環境に対する具体的な取り組みを行うのはまだ少し難しいのですが、0・1・2歳という非常に感受性の高い年齢だからこそ、自然の豊かさや、私たちの社会について、日々の生活のなかで実際に体験し、実感していただくことが大切だと考え、今回の取り組みに参加することとなりました。計画を立てる段階では、保育の中にどんな”エコな活動”を取り入れようか、、、と考えていましたが、ふたを開けてみれば、結果、子どもたちの生活は(私たち大人と違って!)何か特別なことをせずとも、十分地球にやさしい生活でした。季節問わず毎日せせと歩いてお散歩に出かけ、身体を動かし、身近にあるものを想像力を駆使してあそびに展開させ、個々に合った量の給食やおやつを食べる。子どもたちの生活は常に”エコ”です、そして何より日々ちいさな浮き沈みはありつつも、とても楽しそうです。エコ=節制みたいな考え方が大人にはありがちですが、子どもたちを見ているとそうではなく、むしろ豊かさを感じるほどでした! これからも、日々のくらしの中の”子どもたちの発見や、気づき、を大切に育て育んでいけるような保育”を目指していけたらと思います。この1年間、エコ保育所の活動を通して、あたらしい視点から保育を見ることができ、我々職員もいい刺激をいただきました。ありがとうございました。

☆未満児の子どもたちにもわかりやすい絵本、教具などあればぜひHPなどでご紹介いただきたいです!

☆幼児への環境教育として、これからどういったことが求められていくのか、環境先進国等では幼児向けにどういった取り組みが行われているのか等もご紹介いただけると大変参考になります。